

[開催期間]

2024年

5月 3日 (祝)



6月30日 (日)

[会場]

三島町
交流センター

山びこ
(福島県大沼郡)

芳賀 日出男氏 追悼展 第二弾 写真展



「神鬼」 1972年 愛知県北設楽郡東栄町月

民俗写真の巨匠・芳賀日出男が撮影した
日本の祭りや儀礼、そして暮らし

芳賀日向氏(ご子息)による展示解説会 5月3日(祝)午後1時30分～(事前申込不要)

入場料 無料 開館時間 午前9時00分～午後5時00分(最終入館 午後4時30分)

休館日 月曜 (月曜が祝日の場合は火曜、なお6月8日(土)、9日(日)は開館しておりますが、会場前駐車場はイベントのため駐車できません。両日は当日運行するシャトルバスを利用しての来場をお願いいたします)

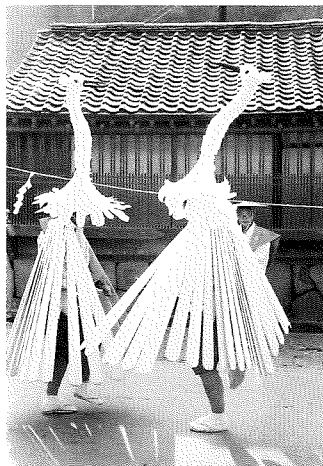
主催 三島町 三島町教育委員会 協力 (株) 芳賀ライブラリー

問合わせ 三島町交流センター山びこ 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418 (会場兼事務局) Tel.0241-52-2165

芳賀日出男 追悼写真展

今回の写真展は2022年にお亡くなりになった芳賀日出男氏の追悼展第2弾として企画したものです。芳賀氏は60年以上の長きに渡り、国内外の祭りや儀礼を撮り続けてきた日本を代表する民俗写真家です。本企画展では(株)芳賀ライブラリーのご協力のもと、芳賀氏が撮影した日本各地の「祭り」、人生における、そして稲作など暮らしの中にある「儀礼」を中心に、精選された三十数点のオリジナルプリントを展示いたします。

〔祭り〕



「鷺舞」1967年
島根県鹿足郡津和野町弥栄神社

〔儀礼〕

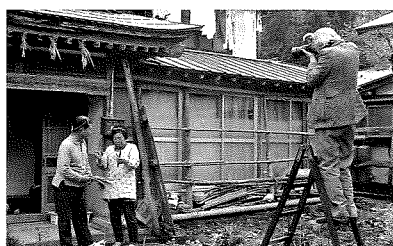


「田の神迎え」1954年
石川県鳳至郡能登町波並
(現・石川県鳳珠郡能登町波並)

〔暮らし〕



「代かき」1961年
福島県耶麻郡熱塩加納村
(現・福島県喜多方市)



芳賀日出男氏と三島町

芳賀日出男氏と三島町は、時代が平成になる頃よりご縁があり、芳賀氏が撮影された民俗(民族)の写真展をはじめ、芳賀氏が世界各地から収集した仮面や日本中から収集した郷土玩具などが町に寄贈されたことから、そのコレクション展も開催してきました。また幾度か、町に残る年中行事なども取材いただいております。今回の企画展では芳賀氏が町内で撮影した写真も十数点展示いたします。

(三島町内で作品解説や民俗の写真撮影を行う
芳賀日出男氏 1990年 故・齋藤茂樹撮影)

はが ひでお 芳賀 日出男氏 (1921～2022) 略歴

1921年、中国大連市生まれ。1944年、慶應義塾大学文学部卒業。1946年、日本通信社に入社。1950年、日本写真家協会創立メンバーの一人となる。1970年、大阪万国博覧会〈お祭り広場〉プロデューサーを務める。1988年、オーストリア、ウィーン市より荣誉功労銀勲章。1989年、紫綬褒章。1995年、勲四等旭日小綬章。1997年、日本写真協会功労賞。2009年、オーストリア国より科学・芸術功労十字章。他受賞多数。主な著作に『田の神』(平凡社、1959年)、『日本の祭り』(保育社、1991年)、『日本の民俗上・下』(クレオ、1997年)、『折口信夫と古代を旅ゆく』(慶應義塾大学出版会、2009年)、『写真民俗学 東西の神々』(KADOKAWA、2017年)、など約70冊にのぼる。また、「田の神」(東京・小西六フォトギャラリー、1958年)、「日本人の生と死のリズム」(慶應義塾大学アートセンター、1995年)をはじめ多数の展覧会が開催されている。公益社団法人日本写真家協会名誉会員。2022年没。

